

兵庫県の高砂市教育委員会 慶田元 主任指導主事と、高砂市立荒井中学校 橋本 校長から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。高砂市では、平成23年度より、子供たちの確かな学力の定着を目指した取組の一つとして「高砂計算検定」を実施しており、今年度からは問題をCBT化<sup>※1</sup>しMEXCBTによる活用を進めていただいております。なぜ、高砂計算検定をCBT化したのか、MEXCBTを使ってみての子供たちの反応等についてお話をいただきました。  
 ※高砂市教育委員会の作成問題は、問題検索画面で「問題の種類から選ぶ」から「独自作成問題」「一問一答形式」を選択の上、検索・配信することで全国の学校で活用可能です。  
 ■■■ 高砂市教育委員会HPのURL <http://www.takasago.ed.jp/takasagoboe/> ■■■

- 高砂計算検定について教えてください。
  - 義務教育9年間を通して計算力の定着を図ることを目的に、小学校1年生から中学校3年生の計算問題を習熟度別に1級から27級に振り分け、学期ごとに計算検定として実施しています。
  - 高砂計算検定に合格した児童生徒には、高砂市より認定シールを配布しています。
- なぜ、MEXCBTを使って実施しようとしたのか教えてください。
  - 令和4年6月より、市内全域に学習eポータル（L-Gate）を導入しMEXCBTへ接続できるようになったため、令和4年12月より紙媒体で実施してきた高砂計算検定をCBT化しMEXCBTに搭載することとしました。全学年の問題が自動採点となるため先生方の業務軽減にもつながると考えています。
- 高砂計算検定のCBT問題は、どのように作成しているか教えてください。
  - これまでの紙の問題をベースに、高砂市教育委員会学校教育課の指導主事が中心となって選択式の問題を作成しました。
  - 今後は、生活質問紙や道徳などの授業アンケート等をMEXCBTに搭載し、市内で共有することを考えています。
- MEXCBTで高砂検定を実施した際の子供たち、教師、保護者の反応を教えてください。

学 年	級の種類
小学校1年	達人、25級、26級、27級
小学校2年	達人、22級、23級、24級
小学校3年	達人、19級、20級、21級
小学校4年	達人、16級、17級、18級
小学校5年	達人、13級、14級、15級
小学校6年	達人、10級、11級、12級
中学校1年	7級、8級、9級
中学校2年	4級、5級、6級
中学校3年	1級、2級、3級

高砂計算検定の級の種類について

【子供たちの反応】

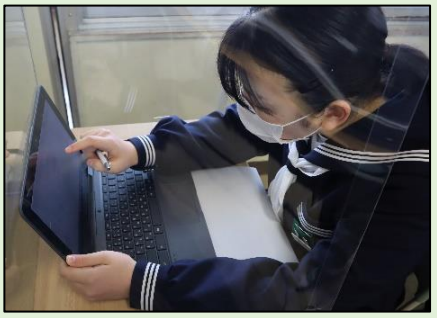
- 端末による検定が珍しかったようで、子供たちは集中して取り組んでいた。
- 紙による検定と比べ、計算式を俯瞰して見ることが難しいようだった。これについては、回数を重ねることで慣れると考えられる。

【教師の反応】

- 自動採点のため楽である。一方で、紙のように解答を導くまでの計算過程が見えないため、その子がどこでつまづいているかを把握することが難しいと感じた。
- ネットワーク障害により一斉実施ができなくなるなど、検定を行う際の公平性の担保が難しいと思った。

【保護者の反応】

- 将来的には、共通テストや全国学力・学習状況調査がオンライン化されるかもしれないので、早い段階から端末で回答することに慣れておくことは大事な経験だと思った。



高砂計算検定に取り組む生徒の様子

- 文科省へのご要望等<sup>※2</sup>ございましたら教えてください。
  - MEXCBTに全国の自治体が作成した問題や教材等が充実していくと、活用がさらに進むと思います。
  - 全国学力・学習状況調査等の問題を各家庭からオンラインで活用できるとよいと思います。
  - 他の学習データや教育委員会等が持つデータと紐付けることで詳しい調査ができると思います。
  - MEXCBT等のCBTを活用した学習が、学習成果にどのような関わってくるか国で検証を進めてほしいです。

※1 CBT=Computer Based Testing コンピュータを使用した調査。  
 ※2 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。